公益社団法人
東京都理学療法士協会
NO.214 News

2020.5.25 発行
◆発　行　公益社団法人
　東京都理学療法士協会
◆発行人　森島　健
◆編集人　井出　大
　医療法人社団永生会
　法人本部リハビリ統括管理部
　〒193-0942
　八王子市椚田町583-15
　TEL :042-661-4108

会長の挨拶

ピンチはチャンス？

公益社団法人　東京都理学療法士協会
会長　森島　健

会長をしております森島です。ニュース発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
まずは、新型コロナウイルス感染拡大により、感染されお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお悔み申し上げます。そして、未だ病気と闘っておられる多くの方々の一刻も早い回復をお祈り申し上げます。また、最前線で働かれている会員の皆様はじめ、医療関係者全ての皆様に感謝するとともに、心より敬意を表します。引き続き都民のため、国民のためにお力添えをいただけますようお願い申しあげます。
しかし、このような時代が来ることを誰が予想したでしょうか？「密閉」「密集」「密接」を避けなければならないこと。臨床・教育・研究それぞれどの分野においても、これらを完璧に避けることは難しいと感じております。しかし、「だから何もできない」というわけではないと思っております。

「ピンチはチャンスだ！頑張ろう！」
私の好きな言葉です。良く自己啓発本などの著書で書かれているので一度くらい耳にしている方も多いと思います。野球でも「ピンチの後にはチャンスあり」と、格言として良く使われていますね。これらの言葉の裏には「時代（流れ）を良く見る事」「ポジティブ思考の勧め」「物事の本質をとらえる事の勧め」「逆転力の発想」などいろいろな意味が隠されていると思います。

今回のことでも、
- ☆ 感染予防についてしっかり見直すことができた。
- ☆ 部署内での仕事量と個人の仕事量を見直すことができた。
- ☆ ICT（情報通信技術）の活用について考えることができた。
- ☆ テレワークで出来ることと出来ないことのすみわけができた。
- ☆ 高齢者にとっての在宅での運動の方法をあらためて考えることができた。
- ☆ 家での時間が増え家族との会話が増えた。
- ☆ 趣味の時間が増えた。
- ☆ 生活のリズムを整えることができた。

こんなピンチな時代だからこそ、できる事が沢山あるはずです。我々に出来ることは何か？東京都理学療法士協会として出来る事は何か？
理学療法士の無限の可能性について一緒に考えていきましょう。
引き続き、会員皆様方のご協力を切にお願い致します。

局長　豊田　輝

COVID-19 の拡大に伴う 2020 年度代議員総会開催について

平素は、本会運営にご理解とご支援を賜っておりますことに改めまして感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の終息に向けて日々、最前線でご尽力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、現在、COVID-19 の影響を受け、新型インフルエンザ等対策特別措置法 32 条 1 項に基づく緊急事態等が発生した旨の公示（いわゆる緊急事態宣言）が都内において発令、延長されております。この状況下において本会は、 執行部各位のご協力のもと 3 月末日で 2019 年度を締め、2019 年度決算作業を予定通り完了させ、5 月 7 日に監査会（事務局での監事による直接監査）を開催した後、5 月 8 日に理事会（WEB 開催）にて承認をいただいております。そして、6 月 13 日に代議員総会を開催する予定でございます。しかしながら、この緊急事態宣言を受け、代議員各位の健康を第一に考えた結果、例年通りの対面式による代議員総会は中止とさせていただきます。尚、今年度の代議員総会は、内閣府から 4 月 24 日付けで通知されております「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う公益法人の 運営に関するお知らせ」に従い、以下のような形式での開催とさせていただきます。

記

公益社団法人東京都理学療法士協会　2020 年度　代議員総会

●開催日時：2020 年 6 月 13 日（土）14 時～ 16 時 30 分

●開催方式：議決権行使書※提出による当日ライブ配信視聴
（事前質問および当日の追加質問のある代議員に限り WEB 会議への出席）

※書面による議決権の行使（一般法人法第 38・39・41・42・51・52 条）
⇒議案への賛否を記載した議決権行使書面を郵送で提出してもらうことによって決議する方法です。また、5 月 8 日の理事会にて、この方法で議決権を行使することが承認されております。

以上

最後になりましたが、COVID-19 の終息に向け、感染予防対策のもと、日々、理学療法業務に従事され、都内の医療体制を支えていただいております理学療法士の皆さまに心より感謝申し上げます。

運動動画配信担当

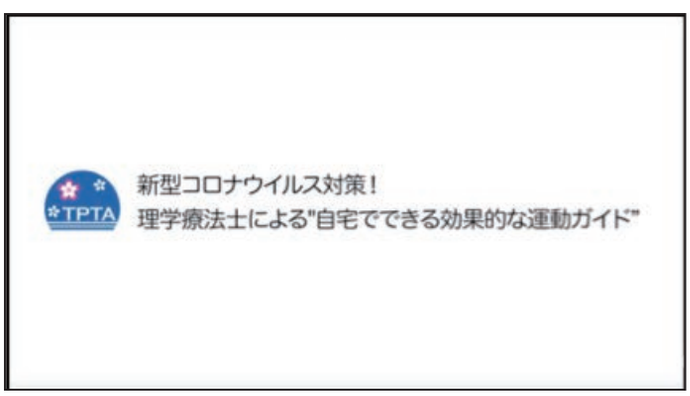
お知らせ

担当者　齋藤　弘

「新型コロナウイルス対策！理学療法士による自宅でできる効果的な運動ガイド」

東京都理学療法士協会では新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために外出自粛されている方々向けに運動ガイドを作成し、YouTube にて配信を行っています。動画は高齢者向けや障害のある方向け、車椅子ユーザー向けなど多種多様な全８編となっています。

①「運動する前後のウォームアップ・クールダウン」編
②「足腰の力に不安のある方」編
③「脳卒中などにより片側手足が不自由な方でもできる体操」編
④「車椅子に座りながらできる運動」編
⑤「姿勢の安定性を高める体幹トレーニング」編
⑥「ウォーキングやお散歩の合間にできる運動」編
⑦「息切れしない体づくりのための呼吸トレーニング」編
⑧「食事などで‘むせ‘が起きやすい方の為の運動」編



実際に視聴した方からも「分かりやすかった。自宅で続けています。」等の声も頂いております。どなたでも YouTube で見ることが出来ますので、ぜひご参考にしてみてください。

配信元：（公社）東京都理学療法士協会ホームページ
http://www.pttokyo.net/
YouTube（https://youtu.be/DkySTLaRfic）

【メディア等紹介事例】
行政：厚生労働省 HP　練馬区 HP　八王子市広報誌など
メディア：NHK 総合テレビ　ひるまえホット　産経新聞など

【問い合わせ先】
（公社）東京都理学療法士協会
運動動画配信担当者　齋藤 弘
E-mail:tpta@eagle.ocn.ne.jp

部長　古川　順光

令和元年度新人教育プログラム研修会報告

昨年度開催した新人教育プログラム研修会（会場：首都大学東京荒川キャンパス（第４回・第５回）の報告をいたします。第４回は令和元年12月１日（日）に開催しました。テーマは必須初期研修の５コマで、受講者数は332名でした。第５回は令和２年１月25日（土）に開催しました。テーマは「B-3 統計方法論」・「E-2 コーチングとティーチング（コミュニケーションスキル含む）」・「E-2 生涯学習と理学療法の専門領域」の３コマで、受講者数は125名でした。
受講生の声をまとめてお届けします．

第４回新人教育プログラム研修会感想文

苑田第三病院　関口　椋太

理学療法士として働き始めて８ヶ月程度経ちました。患者様が回復していく過程や、日常生活への復帰をサポートする役割を持ったことにやりがいを感じるとともに、様々なリスクを管理しなくてはならないという大きな責任を感じています。

入職当初は臨床実習を行ったことがあるとはいえ、新しいことばかりで右も左も分からず失敗することが多く、リスク管理や他職種との連携で大変苦労しました。日本理学療法士協会の生涯学習プログラムの一つである新人教育プログラムでは、理学療法士として働く上で必要最低限知るべきことを学ぶことができます。今回の新人教育プログラム研修会では倫理的な考えの他、社会人としての労働環境の仕組み、リスク管理への心構えを再確認することができました。このプログラムで学んだことは日頃の臨床の一助となりました。また生涯学習プログラムでは新人教育プログラムを受講後は、認定・専門理学療法士取得することができるため、自らのスキルアップに向けてさらに精進していこうと思います。

後期高齢化が進み高齢者が多くなり、私たち若い世代はこれからの医療の中心に立って日本を支えながら歩んでいかなければなりません。それに伴い、医療環境もさらに変容していきます。環境に適応していくだけでなく、自身を守るためにも知識を貯め、自分のなかでの考えを持って働き、周りの理学療法士と切磋琢磨して成長していこうと思います

第５回新人教育プログラム研修会報告

「人との関わり方」

井上　優希

３つの講義を受けた中で最も印象に残った「コーチングとティーチング」について感想を述べさせていただきます。

私は現在回復期病棟で働いています。最近復職希望の患者様との関わり方にすごく悩んでいます。復職希望の方は病気を治し生活はもちろん仕事に戻ることが大前提です。しかし身体は必ずしも仕事に戻れる状態とは限りません。生活でさえ危うい方もいます。しかしその現実を主治医から伝えられても受け止めることは難しいです。その方と毎日１時間以上、長い時間関わっていくのはセラピストです。本当は復職のために、生きるために今どうしないといけないのかという話しをしたいのですが、中々ラポールを築けず掘り下げられていません。複雑な話をすることもありますが、拒絶されることも度々あります。また、否定的な表現をしない方がいいと言われますが、時に否定をしないといけないこともあります。このようにどう関わっていくべきか分からなくなっていました。そんな時にこの話を聞けてすごく道が開ました。今回の講義で最も学びになったのはGROWモデルです。自分が今どうしたくて、そのために何が必要で何が足りないのか、若い人に質問されて答えるのは、その人のプライドもあり難しいことが多いです。しかし、紙面で渡して１人で慎重に考える時間を提供することで、その人自身の気づきになるのではないかと思いました。書いてもらえた上で話ができたら、ご本人も聞き入れやすく、こちらとしてもどこで本当は悩んでいてサポートが必要なのかが分かり、ラポールもより深まるかと思います。近いうちに１度行ってみようと思います。

まだまだ若手で患者様から信頼してもらうのにも時間がかかります。だからこそ今回の聞く姿勢を学べたことはすごく有意義な時間でした。また直接先生から講義を受けることで、より考える機会になったと思います。本当にありがとうございました。

部長　古川　順光

令和２年度新人教育プログラム研修会のご案内

令和２年度の新人教育プログラム研修会は10月以降に開催を検討中です。東京都理学療法士協会ホームページ、日本理学療法士協会（JPTA）マイページをご確認ください。開催時の受講申込は全てJPTAマイページからの事前申込です。電話やメール等での受講申込および当日会場での申込は一切できません。
また、他道府県士会で開催される新プロ研修会の受講や日本理学療法士協会によるe-ラーニングの利用も可能です。研修会開催情報・e-ラーニングに関する情報はJPTAホームページ・同マイページ・各道府県士会ホームページ等を参照して下さい。

１．受講履歴の確認

受講履歴は日本理学療法士協会のマイページから各自で確認できます。
各研修会が開催された後、主催者側から日本理学療法士協会へ宛てて受講者の情報を送付しています。その後、日本理学療法士協会により受講履歴が登録されます。受講後、会員のマイページへの取得単位等の情報が反映されるまでは約１ヶ月半を要します。２ヶ月以上経過しても反映されない場合は、日本理学療法士協会へ直接お問い合わせください。

2.「C-6　症例発表」単位認定手続きについて

平成24年度から新人教育プログラムにおけるC-6症例発表（3単位）の単位は、「全国学会・ブロック学会・都道府県士会および専門領域部会が認めるもの」における発表を認定することになっています。申請方法は都士会ホームページをご参照願います。東京都理学療法士協会が認めている学会は以下の通りです。
（令和２年２月現在，順不同）

JRリハビリテーション医療学会，WCPT AWP & PTAT，ISPRM，肩の運動機能研究会，国立病院総合医学会，
全国介護老人保健施設大会，全国デイ・ケア研究大会，全日本病院学会，東京都病院学会，
専門リハビリテーション研究会，西多摩リハビリテーション研修会，日本PNF研究会学術集会，
日本交通医学会，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，日本保健科学学会学術集会，
日本私立医科大学理学療法研究会学術集会，日本心臓リハビリテーション学会学術集会，
日本発達障害学会研究大会，日本訪問リハビリテーション協会学術大会in東京，
日本リハビリテーション医学会学術集会，リハビリテーション・ケア合同研究大会，
日本臨床スポーツ医学会

以上は現時点での情報です。今後の変更等は都士会ホームページ等にてお知らせして参ります。日本理学療法士協会マイページの情報も合わせてご確認ください。なお、ご不明な点は以下の問合せ先までお問い合わせください。

問い合わせ先：首都大学東京健康福祉学部理学療法学科内（公社）東京都理学療法士協会新人教育部
E-mail：tpta-shinjin@pttokyo.net（携帯メールでの問合せは不可）

ブロック事業報告

区西北部ブロック　北区支部障害者スポーツ（ボッチャ）でのサポート＆相談会

日　　時：2019 年 10 月 6 日（日）～ 2020 年 2 月 23 日（日）
依 頼 者：王子ホールドスターズ
場　　所：東京都障害者総合スポーツセンター
参加者数：延べ 177 名
内　　容：北区のボッチャチームである王子ホールドスターズの練習会でのサポート活動を実施しました。全部で 8 回のサポートとなりました。会場、試合の準備や審判も経験させて頂きながら、練習会の前後で投球フォームに関するご相談、車いすのシーティングの調整なども実施しました。練習会にはお子さんから高齢者まで参加され、ゲームの進め方を考え合う場は大変勉強になりました。北区支部として、これからも地域のスポーツ活動をサポートしていきたいと思います。

報告者：渡邊 祐介（浮間中央病院）

区西北部ブロック部　２０１９年度研修会② Part Ⅲ

テーマ：２０１９年度東京都理学療法士協会区西北部ブロック部　応急手当研修会　Part Ⅲ
日　時：２０２０年２月１９日（水）１９：００～２１：００
会　場：板橋区グリーンホール６０１会議室（板橋区大山）
講　師：板倉 尚子 先生（日本女子体育大学健康管理センター）　参加者：35 名
内　容：スポーツ現場で必要な選手への急性期対応のスキルを習得するため、シナリオトレーニングを実施しました。区西北部ブロックのみならず、広い地域からスポーツ分野に興味のある会員参加がありました。脳震盪、足関節内反捻挫、ハムストリングス肉離れ、心停止がスポーツ現場で起きたことを想定して、理学療法士としてできる急性期対応の練習を行いました。脳震盪では選手が試合を続行できるかを適切に判断すること、足関節内反捻挫、ハムストリングス肉離れでは患部の RICE 処置や重症度の評価により適切な対応をすること、心停止では意識、呼吸、脈拍の評価から適切な対応をする練習を行いました。また、国際競技大会を想定し、英語で急性期対応をする練習を行いました。スポーツ現場で理学療法士としての評価、急性期対応を適切に行い判断することの重要性を学ばせて頂きました。今回のシナリオトレーニングを、今後のスポーツ現場における東京都理学療法士協会の活動に活かしていきたいと思います．

報告者：山部 拓也
（苑田会 苑田第一病院）

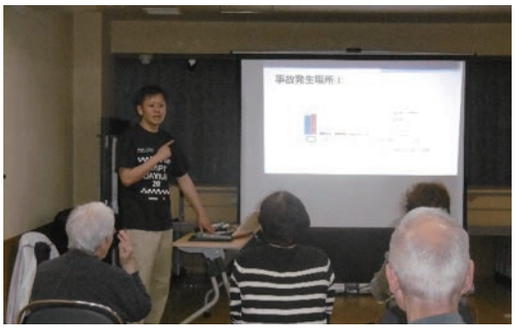
区西北部ブロック部　症例検討会

日　時：2020 年 2 月 16 日（日）
会　場：アットビジネスセンター池袋駅前別館　参加者：66 名
内　容：本会はテーマを「地域で支える　脳血管に対する理学療法」と題し、講師に間藤大輔先生（医療法人社団健育会 ねりま健育会病院）を迎えご講演を頂きました。症例検討会は若手の先生方を中心に 6 症例の検討が行われ、10 分間の発表と 20 分間の質疑応答において双方活発な討議がなされました。今後の新生涯学習制度の構築へ向けそれぞれの地域で完結できる方法を検討し、これまでより小規模でかつ長時間の討議が行える方法を模索致しました。事後のアンケートでは参加者からの反応も上々でしたので、今後の事業運営の参考と致します．

報告者：赤城 圭佑
（辻内科循環器科歯科クリニック）

区西北部ブロック部　清和健康講座

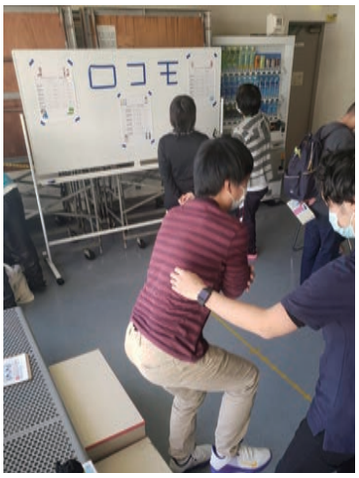
巣鴨の健脚はこうして蘇る！～座ったままできる健康づくり～　「立ち上がり実践編 Part 2」



日　時：2020 年 1 月 29 日（水）13 時～
場　所：区民ひろば清和第一（豊島区巣鴨）
参加者数：約 20 名
内　容：今回は「立ち上がり実践編 Part2」と題して前回より更に実技指導を増加し、立ち上がりに繋がる評価や運動（バンババン体操応用編）を実際に行って頂きました。参加者一人一人の動作を細かく確認しつつ行いました。感想として「身体の芯から暑くなりました」「凄く汗を掻けて気持ち良かったです」「来年度も是非やって欲しいです」等とてもアクティブなご意見を頂く事が出来ました。
今回も座ってできる体操（区内富士見台小学校の児童･先生方とスポーツ局《野々山真樹部員・齋藤弘樹部員》が共に作った安全体づくり体操）を実施しました。行った事がある参加者が増加している事も大変嬉しい事です。
お陰様で来年度は区民ひろば様より依頼事業と言う形に移行する事になりました。引き続き地域の方々の声に応えつつ理学療法士が必要とされる事業に繋がる様、豊島区支部員一同全力で活動して行きたいと思います。

報告者：鈴木 享之（長汐病院）

区東部東北部ブロック部足立区支部 障がい者スポーツフェスティバルでのリハビリ相談会



日　時：2019 年 2 月 2 日(日)
場　所：足立区総合スポーツセンター
参加者数（来場者）：７８７名（リハビリブース来場者３３３名）
内　容：
　第７回障がい者スポーツフェスティバル in あだちでリハビリの相談会を行いました。
「ロコモ検査」「片マヒ体験」「運動器検査（小中学生向け）」「リハビリ機器紹介」「装具相談」のブースを出展しました。多くの地域の方にブースを体験していただきました。
予防の大切さを伝えることができたと思います。

報告者：大島 理恵（苑田会人工関節センター病院）

局長　板倉 尚子

【スポーツ局からのお知らせ】

1．東京 2020 オリンピック・パラリンピック延期に伴うスポーツ局事業について

新型コロナウイルス感染拡大予防対策により東京 2020 オリンピック・パラリンピックが 1 年延期となりました。スポーツ局では大会に参加予定の方を対象とした事業を今年度上半期に企画しておりましたが、事業計画を調整しています。事業再開の目途が立ち次第、当会ホームページにて研修会のご案内を致しますので、是非、ご参加頂ければと存じます。新型コロナウイルス感染症終息、そして皆様の健康と安全をお祈りします。

なお、東京都フェンシング協会様よりスポーツ局へマスクをご提供頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます

スポーツ局　局長　板倉尚子

2．スポーツイベントサポート部からのお知らせ

スポーツイベントサポート部ではスポーツに関わる全ての方が安心・安全にスポーツ活動が実施できるためのスポーツ理学療法推進事業を進めています。東京都内の地域スポーツイベントや競技団体の大会救護及び合宿等のサポートを実施しており、今年度は東京都フェンシング協会様と東京都アーチェリー協会様よりサポート依頼を受けております。このような活動に賛同される方、また、スポーツ理学療法を実践したい方はスポーツ局までご連絡下さい。

※件名に【スポーツ現場活動について】とご入力ください。

スポーツイベントサポート部　部長　渡邊祐介

3．スポーツ局国際競技大会スポーツ理学療法推進部からのお知らせ

2020 年開催予定であったオリンピック・パラリンピックはコロナウィルスの影響により延期になってしまいました。また、感染予防のために研修会などを開催できない状態が続いております。会員の皆様方におかれましては医療現場で奮闘されている時期とはお思います。くれぐれもお身体にお気をつけて、日々お過ごしください。

感染予防が強いられる社会情勢ではありますが、会員の皆様が自己研鑽ができるように、ご自宅でできる学習資料を都士会ニュース発行ごとにお伝えしようと考えております。

今回の自己学習内容は、、、

① 語学研修：ちょこっと気分転換～英語の在宅学習に Try ！～

② 熱中症についての知識

次回の自己学習資料の参考にさせて頂きますので、ご意見やご感想などございましたら、下記のアドレスまでご連絡いただけますと幸いです。

※件名に【自己学習への要望】とご入力ください。

国際競技大会・スポーツ理学療法推進部部長　野々山真樹

＜スポーツイベントサポート部、国際競技大会・スポーツ理学療法推進部へのお問い合わせ＞

Email:sports.pttokyo ★ gmail.com ★を@に変えてご連絡ください。

【ASICS Sports Complex TOKYO BAY への見学報告】

日　時：令和２年３月 26 日（水）　16：00 ～ 18：00
場　所：ASICS Sports Complex TOKYO BAY（東京都江東区）
参加者：スポーツ局（板倉局長、鈴木次長、信太次長、野々山部長、北田部員、水石部員）

高地トレーニングなどの低酸素下でのトレーニングは、主にスポーツ選手のトレーニングとして注目されていた。しかし、低酸素下での運動のメリットを考慮するとスポーツ愛好家や高齢者の方、さらには障がい者の方にも展開が期待されている。今回、Asics Sports Complex TOKYO BAY にお誘いいただき、Asics 様のスポーツ分野での活動と、理学療法士の医療・介護分野での活動をいかにコラボレーションできないかとお話しする機会を得たので報告させていただく。

図１

図２

図３

図４

【低酸素でのトレーニングのメリットとは？】

①通常酸素環境下より短い時間でのトレーニングで、効率的に全身持久力を向上することができ、心肺機能の強化や、酸素摂取量の UP といった効果も期待できる。
②体を動かす時間が短くなれば、関節に負担をかけずに筋力トレーニングができる。

【施設見学／２階（スタジオ、トレーニングルーム、３階（プール）】

・エリアごとに酸素濃度の調節が可能。
・スタジオではヨガやピラティス、ダンスなどのスタジオプログラムを提供。壁一面にプログラムにあわせた映像を投影し視覚的・聴覚的にもトレーニング効果をあげる。（図①）
・トレーニングルーム１はマシンエリア・人工芝エリアがあり、広く開放的な空間。50 mのランニングレーンも完備。（図②）
・トレーニングルーム２はコンパクトな空間のため、集中したトレーニングに最適。（図③）
・アクアプログラムは 50m × 4 レーン ,25m × 3 レーンのプールでのスイミングとトレーニングの提供があり、両方とも床可動式で個々に酸素濃度の調節が可能。（図④）
※利用者はパルスオキシメータを装着し動脈血酸素飽和度（SpO2）を随時測定。
※ Bluetooth にてインストラクターが管理し、安全性を保っている

【低酸素下での理学療法士との可能性】

低酸素環境下での運動介入は、通常の運動に比べ時間の短縮が図れ、各関節の負担の軽減をしながら運動が可能である。また、スポーツ選手だけのトレーニングではなく、高齢者また、循環器・呼吸器疾患をお持ちの患者様、健康増進を図りたい、社会生活により運動時間の限られる対象者まで、より効率のいい運動が可能になる環境である。今後、幅広い人々のニーズにこたえられる可能性を秘めていると今回の見学で感じることができた。

報告者　野々山 真樹（日本女子体育大学健康管理センター）

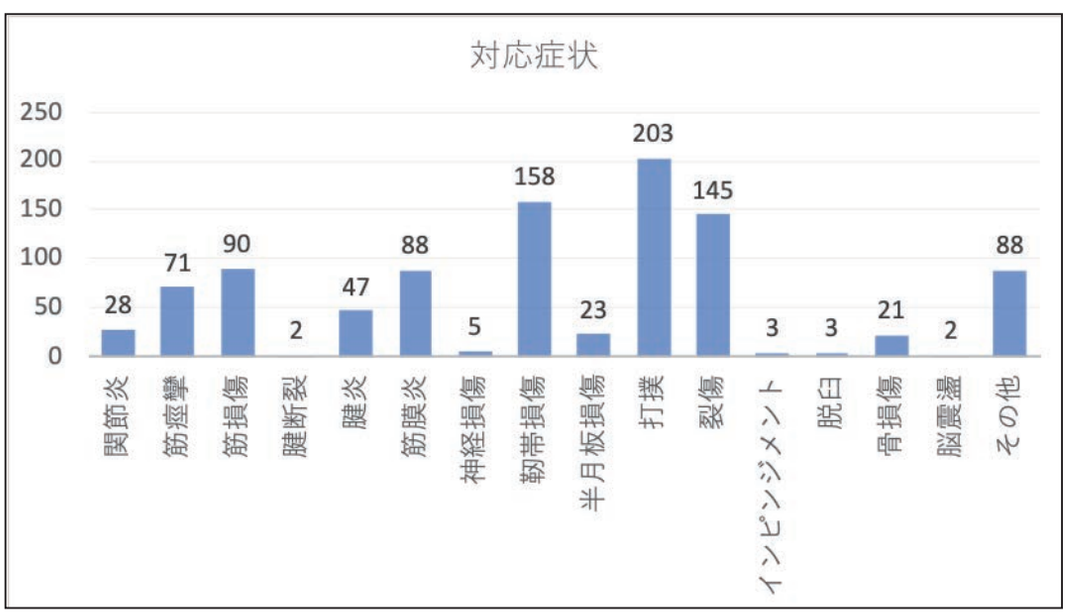
報　告

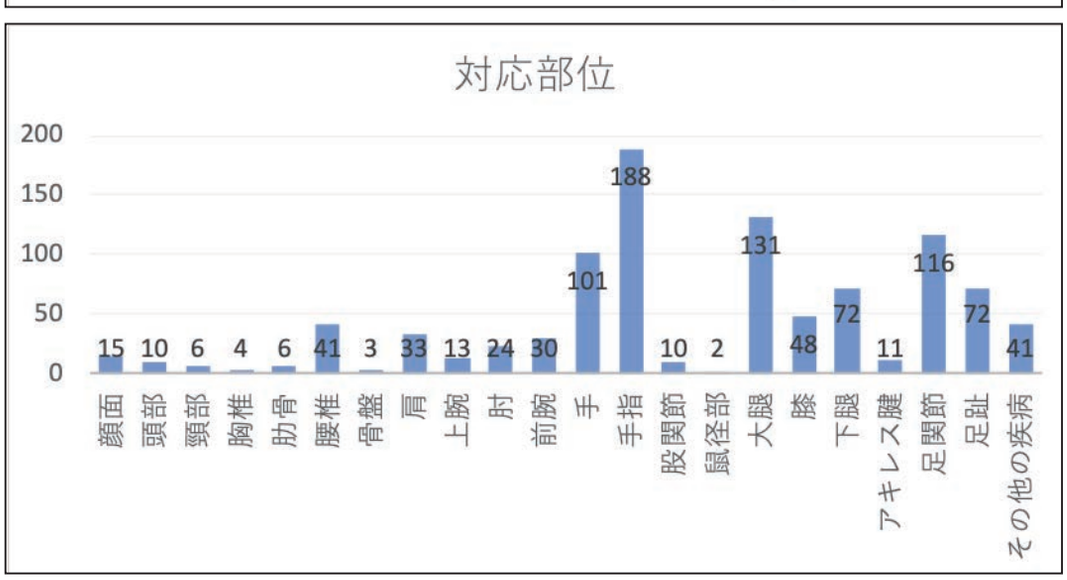
部長　鈴木 享之

2019 年度フェンシング大会会場サポート対応状況

日　時：2019 年 4 月～ 2020 年 1 月
場　所：駒沢オリンピック公園総合運動場体育館、大蔵第二運動場体育館、北区赤羽体育館、他 7 ヶ所
サポート日数：70 日
参加選手数：11455 名

2019 年度も多くのフェンシング大会をサポートさせて頂きました。対応した選手は 977 名に及びました。集計結果を報告できればと思います。対応した症状としては打撲、靭帯損傷、裂傷が多く、対応した部位としては手部が多く、大腿部、足関節の対応も多い状況でした。
現在、東京都は新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言中となりますが、今回は 2019 年度のフェンシング大会の対応状況をひとつの参考として挙げさせて頂きました。
これを一例として、他のスポーツにおいても自宅で現場を想定しつつ、緊張感を持って各部位の評価やテーピング、応急手当ての研鑽ができればと思います。この事態が終息しましたら、皆さんとサポートできる日を楽しみにしております。





報告者　渡邊 祐介（浮間中央病院）

フェンシングルール及び動作体験会報告

日　時：2020 年 2 月 13 日 19 時－ 21 時
場　所：滝野川西区民センター
講　師：山本 耕司 先生（東京都フェンシング協会会長）
　　辻村 眞一郎 先生（東京都フェンシング協会専務理事）
参加者：15 名

2020 年 2 月 13 日に滝野川西区民センターにてフェンシングルール及び動作体験会に参加した為、以下に報告致します。

本研修会は東京都フェンシング協会の山本耕司会長、辻村眞一郎専務理事のご指導のもと、フェンシングにおけるルールや基本動作について学びました。ルールは特に試合中に用いる用語の説明を中心に学び、基本動作はフェンシングの実際の動作を行うことで身体をどの様に使い、どこに負担が掛るのか、外傷・障害が生じやすい部位なども含めて学習しました。

私はフェンシングを見たことはありましたが、実際に剣を持って動作をすることはありませんでした。始めは緊張や慣れない用語に戸惑うこともありましたが、山本会長ならびに辻村専務理事が分かりやすくご丁寧にご指導頂いたことで、徐々に動作方法や動作に伴う負担のかかる部位が分かってきました。そのため、研修会後半ではフェンシング動作における身体の負担部位や、疲労部位を自分の身をもって体験することができ、非常に有意義な動作体験を経験させていただきました。

私は日頃回復期リハビリテーション病棟にて理学療法を行っております。臨床業務では患者さんの動作から仮説を立てて、検証することを日々の診療の中で行っております。本研修会の目的の一つである動作特性から負荷のかかるところはどこなのか？予測される外傷・障害は何なのか？ということに関しては、非常に日常の臨床と関連があり、臨床とスポーツ動作は非常に繋がっていることが多いと思いました。今後もスポーツ活動を通して、臨床技能の向上を図っていきたいと思う動作体験会でした。このような貴重な動作体験会を準備していただいた東京都理学療法士協会スポーツ局スポーツイベントサポート部のみなさまと、ご丁寧にご指導下さった東京都フェンシング協会の山本会長と辻村専務理事へ深く感謝致します。

報告者　土田拓輝（竹川病院）

スポーツイベントサポート部

報　告

部長　鈴木 享之

【終了報告】杉並区ボッチャ競技サポート活動

日時：2020 年 2 月 22 日

場所：永福体育館

参加者数：2 名

2020 年 2 月 22 日にボッチャ競技のサポート活動がありましたのでご報告します。

本事業は杉並区支部とのご協力のもと、杉並区内のボッチャ自主グループ「すぎボッチャクラブ」で障がい者やボランティアスタッフへ競技活動を安心して行うためのサポート活動です。

サポート内容としては、前回に引き続き設営サポートや参加者への声かけ・雰囲気づくり、また今回よりウォーミングアップやクールダウンを担当させて頂くことやグループ常備用の救急用バッグの内容を一緒に検討しました。

今回のサポートで 2019 年度の活動は終了になります。本グループの来年度目標は「大会へ出場すること」としているため、私たち理学療法士も更に参加者やボランティアの方々が安心して活動を行えるよう、また競技力向上を目標にボッチャを行う上での身体の相談や、ボランティアスタッフ・親御さんに対しての救急対応の仕方を伝達する勉強会の開催などをして行く予定です。

今後も杉並区支部員の方々と共に主催者や行政の方との連携をより一層深めて、活動の幅を広げて行きたいと思います。

報告者　新堀　加寿美（浴風会病院）

国際競技大会・スポーツ理学療法推進部

報　告

部長　野々山 真樹

【終了報告】スポーツ現場で安全・適切な対応をするための技能テストについて

日時：2020 年 2 月 3 日（月）

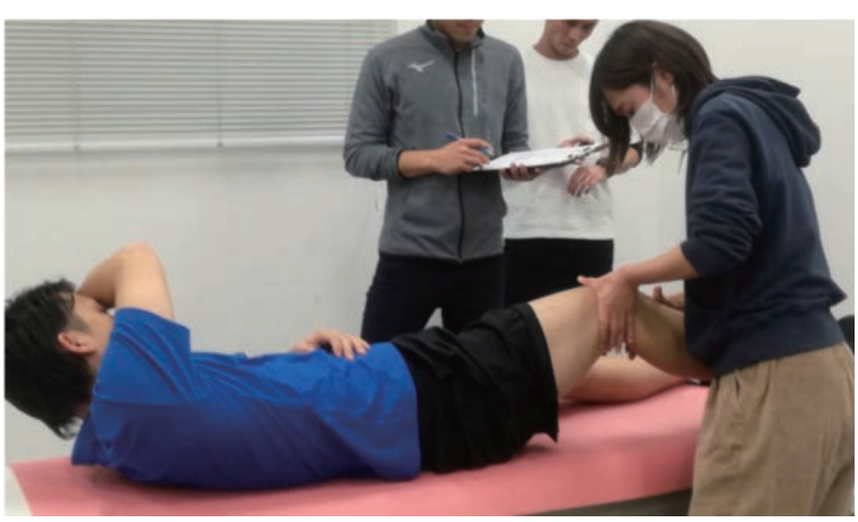
場所：練馬区立・産業プラザ coconeri

内容：

国際競技大会・スポーツ理学療法推進部では、スポーツ局より各スポーツ現場へスタッフを派遣するためのスキル確認として技能テストを実施しており、今回は上記日程にて 2019 年度第 2 回目として開催いたしました。技能テストの内容は①応急手当て（固定法・搬送法）、②足関節テーピング、③シナリオテストの 3 項目にて構成されています。検定員は日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーならびにスポーツ局員にて行われ、各項目のテスト終了後には検定員によるフィードバックの時間も設け、より現場を想定した知識･技術の確認ができる機会の場として開催しています。また合格者には認定証が発行され、スポーツ現場活動のスタッフ募集を行う際には優先的にご連絡がいく形となっております。現在までに約 170 名ほどの方々が技能テストに合格し、現場活動を盛り上げてくださっております。

スポーツ現場では迅速で的確な評価技術が求められますが、このような検定の機会を通して、ご自身の知識や技術の確認、ならびに更なるスキルアップの場となれるよう引き続き運営を進めて参ります。

選手が安心して競技に望める環境づくりをこれからも皆様とともに進めていければと思います。



部長　野々山 真樹

≪ちょこっと気分転換　～英語の在宅学習に Try ～≫

ご挨拶

東京都理学療法士協会国際競技・スポーツ推進部で語学を担当している宮川裕介（山口医院）と瀧本知未（練馬駅リハビリテーション病院）です。当推進部では東京オリンピック・パラリンピックで各国の選手並びに、選手関係者、観客を万全な体制で迎えられるよう様々な準備を進めて参りました。この度、大会は延期が決定されましたが、更なる準備の時間がいただけたものと前向きに捉えております。理学療法士、またそれ以外の方々にも、この場を借りて様々な情報を発信していける事を嬉しく思います。息抜き程度に、ご一読下さると幸いです。

気を付けよう！！　英語を勉強する際の注意点 & ポイント

① リスニングが苦手！！

歌の歌詞、アニメや映画など字幕を日本語でなく、「英語」にしてリスニングの勉強はいかがでしょう？

それを繰り返すことで、耳が英語に慣れてきます。慣れてくると、知っている単語が一つでも聞こえてくるはずです！

② １つの英単語の日本語意味が多く、覚えられない！！

単語の意味が多いのは英語に限らず日本語でも同じです。例えば、“ 勝つ ” という日本語を一つとっても「試合に勝つ」→「勝利する」、「苦手なものに勝つ」→「克服する」と状況によって意味は異なります。「勝つ」という単語は、何かに勝る、抑える、超えるというイメージが浮かんでくるのではないでしょうか。英語の単語も同じで、それぞれの単語にも言葉のイメージがあるので、意味も幾つか出てきてしまうのです。焦らず、違う意味に出くわした際は、その時に覚えるようにすると徐々にその単語のイメージが付いてきます。

結果、英語を恐れずに、知っている単語・言葉から話してみましょう！！まずは苦手意識を持たず、使うこと、慣れることです！

Let’s try ！！簡単な文章集　☆こんな世の中なので、街中で使える英語☆

① Please wash your hands and gargle.　手を洗ってうがいをしてください。
② Please wear a mask to prevent infection.　感染予防のためマスクをしてください。
③ Are you in line?　(お店などで) 列に並んでいますか？
④ To go, please. /Take away, please.　持ち帰りでお願いします。
⑤ For here, please.　店内で食べます。
⑥ After you. お先にどうぞ。
⑦ Let’s catch up. 久しぶりに会おう。
⑧ It’s kidding. 冗談だよ。
⑨ Make sense. なるほどね。
⑩ Help yourself. (食べ物やパンフレットなど) ご自由にどうぞ。

We hope things get back to normal soon. Please take care of yourself.
早く全てが元通りになることを祈っています。お身体ご自愛ください。

国際競技・スポーツ推進部　連絡先：sports.pttokyo@gmail.com

部長　野々山 真樹

≪熱中症ってなに？≫

体温調節機能が破綻を起こすことにより引き起こされます。その要因としては、【①環境】と【②からだ】と【③行動】と考えられています。

①環境

気温・湿度が高い、日差しが強い、急に熱くなった日、閉め切った室内、エアコンのない部屋、風が弱い日など

②からだ

高齢者や乳幼児、肥満の方、糖尿病や精神疾患といった持病、低栄養状態、下痢や風症状の脱水状態、寝不足などの体調不良

③行動

激しい運動や、慣れない運動、長時間の屋外作業、水分補給できない状況

≪どんな症状？⇒その時どうすればいいの？≫

Ⅰ度：手足のしびれ、立ちくらみ、めまい、こむら返り、気分が悪い、ボーッとする

⇒涼しいところで一休み、冷やした水分・塩分を補給。症状が改善しなければ病院へ。

Ⅱ度：頭がガンガンする。吐き気・嘔吐、体がだるい、意識がおかしい

⇒上記の対処に加え、衣服を緩め積極的に冷やしましょう！病院搬送を！

Ⅲ度：意識がない、呼びかけの応答がおかしい、まっすぐ歩けない、けいれんをおこす。

⇒早急に病院搬送を！

※意識があったとしても、自分で飲水できない状態は危険な状態です。観察を怠らず！

≪どうしたら防げるの？≫

・暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）を
　こまめにチェックしよう！ここで分かるよ！ WBGT ！

・こまめな水分・塩分補給を！のどが乾いたと気づいたら、もう遅い！
　※ここで考えてみてください！体重 60kg の人が２％の水分減少率で渇きを感じます。
　　な、なんと！ 1200ml もの水分が無くなってしまっています！（図①）

・身体の中の水分量はおしっこの色で判断しよう！こまめにチェック！（図②）

環境省熱中症予防情報サイト

水分減少率（体重に占める割合）	主な脱水症状
2%	のどの渇き
3%	強い渇き、ぼんやりする、食欲不振
4%	皮膚の紅潮、イライラする、体温上昇、疲労困ぱい、尿量の減少と濃縮
5%	頭痛、熱にうだる感じ
8～10%	身体動揺、けいれん
20%以上	無尿、死亡

提供：森本武利
中野昭一編「スポーツ医科学」第2章 体液・血液の働き. 40頁, 1999.
Adolph EF & Associates: Physiology of Man in the Desert. Hafner Pub Co. New York. p191, 1947.を参考に一部改変して作成

図１

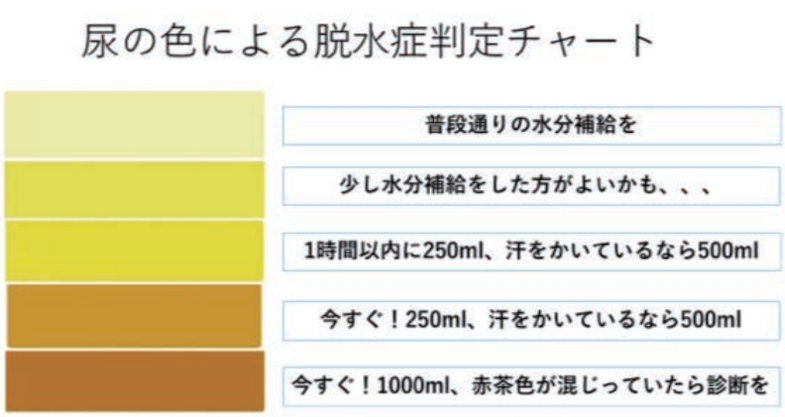


図２

・マスクの取り扱いに注意しよう！感染予防対策を踏まえて。

マスクの表面は菌やウィルスがたくさん！
触れないように心掛けて！

30 分に１度の換気を目安に！

≪参考資料≫

環境省熱中症予防情報サイト　https://www.wbgt.env.go.jp/

公益社団法人全日本病院協会　https://www.ajha.or.jp/guide/23.html

部長　多賀 留美

スポーツ局　障がい者スポーツ部　事業報告

＜スポーツ義足研修会＞

令和２年２月１日、東京都障害者総合スポーツセンターにて、鉄道弘済会義肢装具サポートセンター義肢装具士の臼井二美男先生、理学療法士の岩下航大先生を講師にお招きし、スポーツ義足とランニングについて講義と実技研修会を開催しました。

講義では、義足を作製する事なく、退院する下肢切断者が多く、生活用　義足の使用者が少ない理由として、医療者の中でも異なる見解が存在しているからである。下肢切断者の状態・条件、補装具の機能の適切な判断がされれば見解が異なる事はない。生活用義足を使用する事が日常でなければ､スポーツ義足で｢走る｣事は不可能。障がい者のスポーツの可能性を拡げるには、まず「義足で歩く人」を支援することが、理学療法士の大切な役割である。との話がとても印象的でありました。

実技では、スタートライン東京所属選手のランニングのデモンストレーションや、障害や体験談など貴重な話を真剣に聴講しており、積極的に質問もありました。模擬義足を使用した体験も、講師やデモンストレーター、受講生が一緒になって、装着や立ち上がり介助、歩行介助など実施している様子が多く見られ、多くの受講生が積極的に参加している様子が伺えました。

医療者として、義足に対する医療的側面の知識を高め、社会的側面を理解する事で、スポーツ支援に繋げる理学療法士が少しでも増える事が期待できる充実した研修会になったと感じました。

＜ハンドサッカー事業＞

第 31 回　東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会視察報告

令和２年２月 15 日、駒沢オリンピック公園屋内球技場にておこなわれた、第 31 回東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会の運営視察を行いました。参加校は 20 校で２つのリーグに別れ、リーグ戦を行い決勝トーナメントにて優勝を争いました。チームで協力し合う姿や、観戦に来ていた保護者などの熱い応援も印象的でした。

当日は、大会運営を行っている教員の方と一緒に選手コート誘導や個人賞の運営補助を行いました。大会サポートへの基盤づくりの参考となる意見交換ができました。

ハンドサッカーは、「既存の競技では十分に対応しきれない様々な実態の障害をもつ子ども達に合わせ、活躍の場を広げ、個々の能力を引き出し、心身を健全に育成するために考え出された競技」と、されております。選手の持つ能力を引き出すために、理学療法士として協力していきたいと感じました。

部長　多賀 留美

第７回　ハンドサッカー交流大会視察報告

令和元年８月24日、東京都多摩障害者スポーツセンター体育館にて行われた、第７回楽しもう！ハンドサッカー交流大会の観戦視察を行いました。本大会は、多摩ハンドサッカー倶楽部が主催し、ボランティアを含めた大会運営となっていました。参加４チームでリーグ戦を行い、世代を超えて、年齢性別関係なく、誰もが楽しめるよう、健常者も参加できる大会となっていました。

多摩サッカー倶楽部は、特別支援学校の生徒、卒業生を中心に障がい者には限定はしないで活動するクラブチームです。当日は、多摩ハンドサッカー倶楽部代表より、大会を観戦していただける方、また大会ボランティアだけでなく、普段の練習サポートをしていただける方を求めているとのことでした。

インクルーシブスポーツにおけるサポートについての、意見交換ができた視察であったと感じました。

報　告

委員長　小川　智美

快適な生活を送るための試作品・アイデア募集結果

令和元年度の機器開発助成事業「快適な生活を送るための試作品・アイデア募集」に対し、問い合わせ３件、応募１件がありました。身近で手に入りやすい、安価な材料で工夫したアイデアをご応募いただき、助成が決定しました。以下、その発案者とアイデアをご紹介いたします。

発案者

介護老人保健施設　梅の木

理学療法士　浅野文孝様

助成金額：２，５６３円

既存の杖に着脱可能なマジックハンドキット

背景　高齢者や脊柱、股関節に疾患のある方にとっては、歩行が可能であっても、床に落としたものを拾うことは困難もしくは労力を要し、他人の手助けを必要とすることが多い。今回発案した道具は、所有のＴ字杖に着脱可能であることから、杖としての機能を果たしながら、床に落ちたものを容易に拾うことが可能となる。

類似用具との相違点　類似用具に「物品握持機能を有する杖」（特開 2015-051245）があるが、既成のマジックハンド機能杖であり、杖としての機能である「体重を支える」点については、構造的脆弱性が大きいと考えた。これに対し、今回発案のマジックハンドキットは既存のＴ字杖に装着するだけなので、杖としての機能（耐荷重性）を失うことはない。

試作品　このキットは、図１Ａ（以下Ａ部分）のレバーを握り、ワイヤーを引くことで図１Ｂ（以下Ｂ部分）が閉じ、落ちているものを把持することが可能となる。杖使用時にはＢ部分を閉じた状態にできるため、Ｂ部分が邪魔になることはない。これはＢ部分の上部にある輪を引き上げることで、ストッパーの役割が果たされるためである。キットの装着方法は、Ａ及びＢ部分をねじで締めて杖に留める。レバーと繋がるワイヤーはバンドテープで留めているため、すぐに着脱可能となっている。Ｂ部分の構造であるが、把持できるものの幅は５㎝程である。万が一、Ｔ字杖の長さの変更が必要となった場合でも、基本の位置から上下１段程度はそのまま、少しのワイヤー調節で使用可能である。

図１　試作品全体写真

使用報告　**把持・引き上げ可能なもの**：財布、キーケース、服、靴、箸、ペン、紙（凹凸のあるもの、薄くても曲がる物は可能）　**把持・引き上げできなかったもの**：硬貨、iPad、ケースなしもしくは背面のみカバーのスマートフォン（硬く、かつ薄い物は困難）実用に関しては、使用者の発揮できる力にもよるが、杖の重さも含まれるため、引き上げ可能な物の重さの上限は 500g ～ 800g 程度であった。

キットは装着した状態でＴ字杖を使用する際に邪魔になることは全くなかった。把持したものを引き上げる際、レバーを把持し続けることに困難さを感じることはなかったが、使用者の握力にもよると考える。ものを掴む先端はシリコンゴムであるため、掴んだものが滑り落ちてしまうことは少なかった。落ちたものを拾う際に腰を全く曲げる必要がなかったため、腰への負担が少ないと考える。また、別の使用方法として、杖先で立ったまま靴を押さえておくことが可能であったため、靴の着脱時に、座ったりかがんだりの必要がなかった。踵が潰れてしまうような靴でも、靴ベラよりもきちんと踵を履くことができた。

図２　Ｂ部分の構造

開いた状態（左）と閉じてストッパーを止めた状態（右）

今年度も、助成事業を実施する予定です。

募集の詳細は次号のニュース、ホームページに掲載いたします。

倫理委員会　研修会報告　1

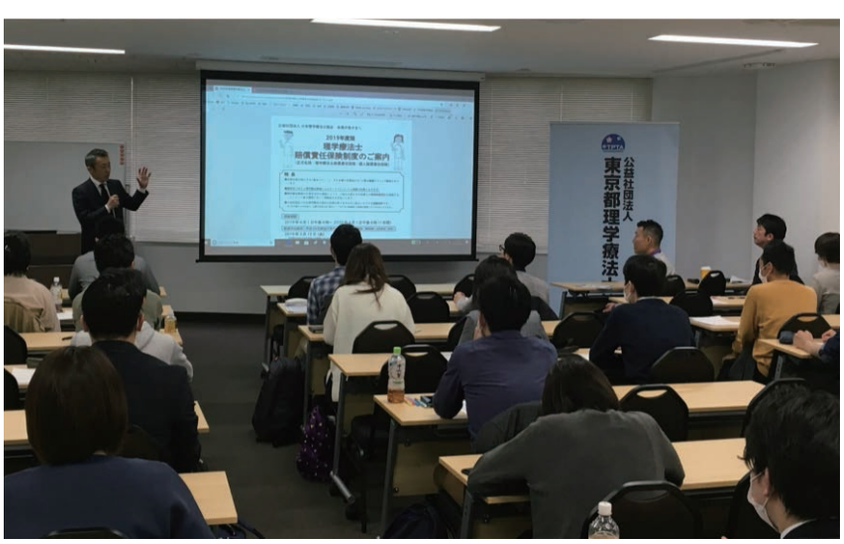
日　時：2020 年 2 月 7 日（金）　19 時～ 21 時
場　所：東京医科歯科大学医学部附属病院
　　リハビリテーション室
テーマ：「 病院・施設の管理者に向けたハラスメント対策～ハラスメントを含めた職場管理の取り組みについて～ 」
参加者数：31 名
講　師：村永　信吾　氏
（亀田総合病院 リハビリテーション事業管理部 部長）

内　容：「ハラスメント」をテーマとして、亀田総合病院リハビリテーション事業管理部でご活躍の村永信吾先生を招いて研修会が開催しました。研修会では、ハラスメントの種類や該当基準、職場管理者として気を付けたいポイント、職場環境づくりのポイントなどを中心にご教授して頂きました。また、ハラスメントに関連づけてコミュニケーション・指導方法の具体的なポイント、さらに労働生産性を高めるための心理的安全性についても解説して頂きました。ハラスメントの正しい知識だけではなく、ハラスメントの領域を超えて管理者として必要なスキルや知識も学び、とても有意義な研修会となりました。

報告者：星 和彦（東京北医療センター）

倫理委員会　研修会報告　2

日　時：2020 年 2 月 16 日（日）10 時半～ 12 時半
場　所：アットビジネスセンター池袋駅前別館　7F
テーマ：理学療法士が安心して業務をするために必要な知識～理学療法士賠償責任保険について～
参加者数：66 名
講　師：富永　佳紀 氏
　　（株式会社シェルト　代表取締役）



内　容：今回は、理学療法士賠償責任保険制度について、富永佳紀先生に御講演頂き、その後個別相談会を実施しました。理学療法士賠償責任保険制度は、理学療法士個人として業務上の過失により損害賠償請求を受け、法律上の損害賠償責任を負担する場合に、その損害を補償する保険制度です（保険期間中に事故が発見された場合のみ保険の対象となります。）今一度自分自身を守るために、自所属施設の保険補償制度について考えてみるきっかけとなりました。

報告者：中村 浩明（東京北医療センター）

研究推進部からのお知らせ

令和２年度研究助成　応募要領

1．研究課題

理学療法関連分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究を対象とします。

2．助成の概要

①応募資格

イ．理学療法士個人またはグループ、医療従事者、一般都民を対象とします。

ロ．大学院生でも応募は可能です。申込書に所属・専攻等を記載ください。

ハ．助成の決定・交付は、所属機関の倫理審査委員会の承認を条件とします。

②助成内容

1）研究機器貸し出し

イ．東京都理学療法士会が所有する研究機器について、単年度で無償貸し出しをいたします。

ロ．所有機器　＊各機器の詳細は各社ホームページ等をご参照ください。

1）ハンドヘルドダイナモメータ（アニマ社製ミュータス F-1）×３台

2）デジタルインクリノメータ（デュアラー IQ インクリノメータ）×４台

3）全身反応時間計測システム（マルチタイムカウンタ・多色刺激呈示器・反応キーボックス・マットスイッチ，DKH 社）×１セット

4）組織硬度計・圧痛計・徒手筋力計（伊藤超短波）×１セット

5）関節角度・EMG フィードバックシステム（フィードバックロガ・２軸ゴニオメータ×２・EMG × 2ch・コンタクトスイッチ，DKH 社）×１セット

ハ．複数種類・複数台の申請は可能ですが、応募状況・研究内容等を勘案し貸し出し機器および台数を決定いたします。

ニ．他の応募者と貸し出し機器が重複する場合には、選考会議での評価が高い順に貸し出しを決定いたします。

ホ．研究期間中、貸し出した機器を別の研究のために使用することはできません。病院等診療業務でこれを使用することもできません。

2）助成金額

イ．１件 10 万円を上限とし、採択件数は総計 50 万円までとします。

ロ．研究機器の貸し出しを希望しない場合、助成金のみの申請も可能です。

③助成金使途

イ．研究に要する機器備品費，消耗品費、対象者交通費、通信運搬費、印刷・複写費のみとします。

ロ．旅費および研究補助者への謝金、10 万円以上の機器購入への充当に使用することはできません。

ハ．コンピュータ（タブレット PC を含む）の購入は、研究計画上必要と認められた場合に限り可能とします。単に測定データの入力や論文作成等で使用する場合には認められません。

④助成期間

年度末を原則とします。ただし、貸し出した研究機器につきましては研究の終了後速やかにご返却ください。

⑤助成決定時の義務・条件

イ．選考により助成対象者となられた場合は、所属機関の倫理審査委員会の承認を証明する書類と、所定の助成誓約書を提出していただきます。

ロ．上記 2 点の書類を確認後、助成交付をいたします。

ハ．助成誓約書の提出をもって、当協会への研究経過・完了の報告および貸し出し機器の返却等の義務を負っていただくことになります。

ニ．研究の終了後、1 年以内に研究成果を理学療法関連学会に報告し、論文化の後に学術誌へ投稿してください。原則として学会報告は、東京都理学療法学術大会または各領域の分科学会、関東甲信越ブロック理学療法士学会のいずれか、論文投稿先は『理学療法東京』または理学療法関連学会誌としてください。

⑥研究安全倫理審査委員会の承認

イ．所属機関（筆頭研究者または共同研究者）の倫理審査委員会の承認は必ず行ってください。所属機関に委員会がない場合、学会・協会等の外部機関での承認でもかまいません。

ロ．倫理審査委員会の承認が受けられない場合、採択が取り消しとなる場合があります。

3. 選考方法

選考会議において慎重に審議の上、学際的に貢献し得る研究を選考し、理事会において助成対象者を決定します。選考はマスキング審査で行います。

4. 応募期間

令和 2 年 6 月 1 日（月）～ 6 月 30 日（火）

＊応募件数または採択件数が少ない場合には、追加募集を行う場合があります。

5. 応募方法

応募要領を熟読の上、当協会ホームページから申込書をダウンロードして必要事項を記入し、電子メールに Word ファイルを添付のうえ下記までご提出ください。

6. 申込書提出先および問い合せ先

〒 160-8582　東京都新宿区信濃町 35 番地　慶應義塾大学病院リハビリテーション科内
東京都理学療法士協会 学術局 研究推進部　三森由香子
Tel/FAX.03-3354-1358　E-mail: tpta.r.s@gmail.com

DVD 貸し出しに関するお知らせ

東京都理学療法士会主催または委託の講習会を記録し、教材資料として貸し出しております．貸し出し注意事項を確認の上ご利用ください．

貸し出し注意事項

【申し込み方法】

e-mail 又ははがきでの申し込みのみ、受け付けさせていただきます．

e-mail の場合、あて先を kyouzai@pttokyo.net、件名を「DVD 貸し出し申し込み」とし、本文に必要事項を記入してください．

なお申込み後 1 週間以内に返信のない場合は電話にてご連絡ください．

＜必要事項＞所属士会・所属施設・会員番号・氏名・配送先・配送先住所・電話番号・希望 DVD 名（2 題目まで）・貸し出し方法（宅配便／持ち帰り）

はがきの場合は、同様の事項を記入の上郵送してください．

【貸し出し対象】

東京都理学療法士会会員および日本理学療法士協会会員を対象とします．

申し込みには、必ず**所属施設名**（現在自宅の方は「自宅会員」）と**会員番号**をご記入ください．

【貸し出し方法】

宅配便または**持ち帰り**にて貸し出します．

宅配便は、着払いとさせていただきますので、各施設の受取人の方にあらかじめご説明ください．

持ち帰りは、順天堂東京江東高齢者医療センターまで受け取りに来られる方に限ります．

あらかじめ電話にて、受け取り日時を連絡ください．

基本的に月～金の 9:00 から 17:00 まで、順天堂東京江東高齢者医療センターにて受け付けています．

ご希望の DVD が、既に貸し出し中の場合は、貸し出しが遅れますのでご了承ください．

【貸し出し本数・期間】

貸し出し本数は一回の利用毎に**2 題目**まで、貸し出し期間は郵送日より 2 週間となっております．

【貸し出し料金】

都士会員への貸し出し料金は無料です．都士会員外は 1 題目につき 1000 円の貸出料となります。宅配便を利用された場合、着払いの料金と返送時の料金が必要となります．

【DVD 返却時のあて先・連絡先】

DVD 返却は、以下のあて先までお願いします．

不明な点などがございましたら下記までご連絡ください．

円滑な貸し出しが行えるよう、会員の皆様のご協力をよろしくお願いします．

【DVD 貸し出し事業について】

本事業は令和 2 年度をもちまして終了する予定です。貸し出し事業は令和 2 年 12 月末までとさせて頂きますので、御了承下さい。

順天堂東京江東高齢者医療センター　リハビリテーション科（教材資料部）

曾根　美穂・渡邉　善行

〒 136-0075　東京都江東区新砂 3 － 3 － 20　TEL:03-5632-3111(内線 3300)

教材資料部DVDリスト

研修会DVD

No.	題　目	収録年	時間（分）	講　師
90110	クラインフォーゲルバッハ法の概念	H14.3	540	冨田昌夫
90910	脳卒中に対する神経リハビリテーションと回復期リハビリテーション病棟	H21.6	120	宮井一郎
90920	成人片麻痺の評価と治療'09	H21.8	800	曽根　政富他
91110	第29回東京都理学療法学術大会 「最新の脳科学とリハビリテーション」「勝負脳」「魂をこめて」	H22.6	300	片山　容一・林　成之・ 金子　正子
91120	成人片麻痺の評価と治療'11	H23.2	240	曽根　政富・保苅　吉秀
91130	第30回　東京都理学療法学術大会　3次元動作解析装置での評価をもとに下肢装具を用いた脳卒中歩行障害に対する戦略について	H23.6	90	山本　澄子・殷　祥洙
91140	呼吸ケアチーム参加に必要な基礎知識	H23.10	370	深井　和良
91150	すぐに役立つ！理学療法士に必要なコーチングスキル	H24.3	120	諸橋　勇
91210	第31回東京都理学療法学術大会 脱臼禁忌肢位のないTHAをめざして	H24.6	90	松原　正明
91220	第31回東京都理学療法学術大会 脳卒中でみられる様々な症状～そのひとらしい対応～	H24.6	90	長谷川　幹
91230	ボバース概念に基づく脳性麻痺の評価と治療	H24.9	340	新保　松雄・北原　エリ子・ 丸森　睦美・増渕　順恵
91240	認知運動療法	H26.3	360	池田由美・金森宏・ 山手千里
91250	股関節の機能解剖と運動療法	H26.8	50	赤羽根　良和
91260	脳血管障害の理学療法とその研究手法	H26.11	180	藤野雄次・万治淳史
91270	第35回東京都理学療法学術大会　ハンズオンセミナー 認知神経リハビリテーション、ボバースコンセプト、呼吸リハビリテーション、頭頚部に対する運動療法	H28.6	240	金森宏・大槻暁・ 寄本恵輔・上田泰久
91280	第36回東京都理学療法学術大会　スキルアップセミナー 認知症予防を目的とした運動療法、急性期脳血管障害の理学療法、モーターコントロールにおけるピラティス	H29.6	150	島田裕之・寄本恵輔・ 増渕喜秋
10060	症例検討ⅠⅡ　～整形外科疾患/中枢神経疾患～	H12.8	180	高橋雅人・横田一彦
10910	地域におけるリハ～地域におけるリハビリテーションおよび理学療法士の役割等～	H21.8	90	加島　守
20060	症例検討ⅠⅡ　～症例検討の方法論（singl subject）～	H12.9	180	望月　久
20240	社会の中の理学療法　～理学療法の啓蒙・需給状況など～	H14.9	90	高橋　輝雄
20910	社会の中の理学療法～理学療法に対する認識、社会的責務、理学療法のあり方～	H21.8	90	高橋　輝雄
20920	学問としての理学療法と研究方法論	H21.8	90	森島　健
20930	人間関係および労働衛生	H21.8	90	岡田　要一郎
30150	トピックスⅠⅡⅢ　～インソールについて/変形性股・膝関節症の理学療法～	H13.2	180	佐々木克則・石井慎一郎
30350	トピックスⅠⅡⅢ　～認知運動療法～	H16.2	180	池田　由美
30360	世界の理学療法	H23.3	90	中山　孝
30370	理学療法の教育方法論	H23.3	120	帯刀 隆之　立石 貴之
30380	生涯学習と専門領域	H23.3	90	古川　順光
38390	PTのための診療報酬	H23.3	90	千葉　哲也
40350	トピックスⅠⅡⅢ～治療アプローチと基礎理論（徒手療法・PNF・ボバース）～	H15.10	120	竹井仁・富田浩・新保松雄
40450	トピックスⅠⅡⅢ～X線、CT、MRIの診かた・脳卒中リハビリテーションのガイドラインとその将来性～	H17. 3	150	松本　満臣・渡邉　修
40610	トピックスⅠⅡⅢ～中枢神経系理学療法のトピックス～	H18.7	90	網本　和
40620	症例検討ⅠⅡ　～肩甲骨を診てみよう！～	H18.7	90	高間省吾
81110	高次脳機能障害のリハビリテーション　第1巻　高次脳機能障害とは何か	H23	160	NHK厚生文化事業団
81111	高次脳機能障害のリハビリテーション　第2巻　高次脳機能障害を生きる			
81112	高次脳機能障害のリハビリテーション　第3巻　就労支援の現場から			

部長　中山　雅和

■　機関誌『理学療法　東京』投稿募集のお知らせ　■

当士会では年一回、機関誌『理学療法　東京』を発行しており、投稿原稿を常時募集しています。投稿された原稿は査読者に依頼し掲載可能とみなされれば校正ののち、その時点で最も発行が近い『理学療法 東京』に掲載します。

生涯プログラムへの反映について

・新人教育プログラムは、反映されません。

・認定・専門理学療法士制度では,『3.-3)-b　その他の査読付きリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者　40 ポイント』に該当します。

＊ただし、内容によって専門分野での認証されない場合があります。反映される方は、**発刊後に自己申請**をお願い致します。

《執筆投稿規定》

【論文内容】

1.　学術研究論文

2.　教育関係論文

3.　症例報告論文

4.　行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】

公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る．但し会長が依頼した場合この限りではない．

【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表，または投稿中の原稿でないこと．本規定に従って作成すること．

【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する．

【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと．

【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する．査読の結果，編集方針に従って原稿の修正を求めることがある．また，必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある．

【執筆規定】

1. 論文構成

1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する．原則として略語，略称は用いない．

2）キーワード：標題及び要旨から 3 個を抽出する．不十分な場合は本文から補充する．

3）著者名，所属名

4）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて 400 字程度で記載する．

5）本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする．

① はじめに（序論，諸言，まえがき等）

② 対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること．

③ 結果

④ 考察

⑤ 結論（まとめ）

⑥ 文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる．本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける．引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合，最初の 2 名を記載し，他は「・他」あるいは「et al.」とする．雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，巻，号，頁，西暦年号の順に記載する．単行本の場合は著者氏名，書名，編集者氏名，発行所名，発行地，年次，頁を記載する．

＜表記例＞

・藤田信子，桝田康彦・他：椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動―筋電図学的分析．理学療法学 ,17:27-30,1990.

・Sepic,S.B,Murray,M.P,et al.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women. Am.J.Phys.Med,65:75-84,1986.

・真島英信，猪飼道夫：生体の運動機能とその制御 . 杏林書院 , 東京 ,1972,pp185-193.

・Junda,V.:Muscle Function Testing Butterworths,London,1983,pp224-227.

6）図表

原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）．図の番号および標題は図の下に，表の場合は表の上につける．本文と図表は分けて作成し，表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する．

2. 原稿規定分量

原則として400字詰め原稿用紙20枚･8000字以内とする．

3. 文字表記

原則として現代かな使い，数字は算用数字，単位は国際単位系（SI単位）を用いる．

4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する．

5. 表紙頁，著者頁

論文には表紙頁と著者頁をつける．表紙には標題，キーワード（3個），本文ページ数，図表枚数，原稿文字数を記載する．著者頁には著者名，所属名，責任者連絡先（住所・電話番号･Emailアドレス）を記載する．表紙頁，著者頁の後に要旨･本文・図表を改めて記載する．

6. ページ番号・行番号

原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に5行ごとに行番号を記載する．

【原稿送付方法および連絡先】

1）原稿送付先

原則として投稿原稿一式を1つのファイルにまとめ，電子メールに添付して下記へ送付する．上記が不可能な場合は問い合わせすること．

2）原稿送付先および連絡先

〒184-8508　東京都小金井市2-22-32
社会医学技術学院　理学療法学科
中山雅和
TEL：042-384-1030
FAX：042-385-0118
E-mail：pt_tokyo_kikanshi@yahoo.co.jp

（平成27年10月16日　改定）

編集後記

令和２年５月も下旬となり暑さ寒さが入れ替わる気候となりました。しかし私達の日常は、会長の挨拶でも触れられておりますが、新型コロナウィルス感染症の甚大なる影響により、大きく変わってきていると思います。特に業務に際しては、日々模索を続けている状態と言っても過言ではない状況です。さらに私達自身の「新しい生活様式」への適応と同時に都民の皆様へ理学療法士としてどのように関わるべきなのかを考えなければならないと感じております。

また、このような状況下ではございますが、都士会ニュースも長く続いておりました紙媒体での発行から電子媒体へ移行することになりデザインも一新いたしました。ぜひご覧になっていただき、感想、ご指摘を頂戴いただければ幸いです。読みやすい誌面作りに努めてまいります。（M.I）

目次

会長からの挨拶・・１
事務局から・・２
運動動画配信担当・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
新人教育部から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４～５
地域活性局から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～７
スポーツ局から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８～９
スポーツイベントサポート部から・・・・・・・・・・・・１０～１２
国際競技大会・理学療法スポーツ推進部から・・１２～１５
障がい者スポーツ部から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６～１７
理学療法関連機器開発委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
倫理委員会から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
研究推進部から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０～２１
教育資材部から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２～２３
機関紙編集部から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４～２５
目次・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

９，３４０名（令和２年５月２５日現在）

（事務局）　〒 151-0053　東京都渋谷区代々木 2-26-5　バロール代々木４０９号

Tel：03-3370-9035　FAX：03-3370-9036